



岐阜県政記者クラブ加盟社各位



| 令和7年10月21日（火）岐阜県発表資料 | | | |
|----------------------|--------------|-----|--|
| 担当課 | 担当係 | 担当者 | 電話番号 |
| 県民生活課 | 交通安全・コミュニティ係 | 高橋 | 内線 3014 直通 058-272-8205 FAX 058-278-2889 |

スケアード・ストレイトによる高校生交通安全教室を初開催！！ ～スタントマンが交通事故を再現～

県内では、過去5年間（令和2～6年）の自転車乗用中の交通事故死傷者数のうち、23.4%を高校生が占めています。加えて、令和8年4月1日から、16歳以上を対象に自転車の交通違反に交通反則通告制度（いわゆる「青切符制度」）が適用されます。

このような状況を踏まえ、県としては初めて、スタントマンが自転車事故を再現し、衝撃や怖さを伝える、高校生交通安全教室を開催します。

記

- 概要**
 - 土岐商業高等学校（土岐市土岐津町土岐口1259-1）
令和7年10月28日（火）13:20～14:20
高校生 459人、教員 35人
 - 東濃実業高等学校（可児郡御嵩町伏見891）
令和7年11月28日（金）14:25～15:15
高校生 540人、教員 70人※今回の実施校2校は、「ヘルメット着用推進リーダー実践校」として啓発活動に取り組んでいる高校です。
- 実施内容**
 - 交通安全講話（青切符制度の紹介など）
 - スタントマンによる交通事故再現
 - ・時速40kmの事故の衝撃
 - ・自転車の乗り方のマナー
 - ・歩行者専用道路での自転車事故再現
 - ・見通しの悪い交差点での事故
 - ・横断歩道での事故
 - ・自転車事故を起因とした事故
 - ・ドア開放事故
 - ・大型トラックの内輪差による事故（左折巻き込み事故）
 - ・サンキュー事故（右直事故）
- その他** 雨天の場合は体育館で実施します。
また、荒天候の場合には、開催を延期することがあります。

【参考】

○スケアード・ストレイトとは

- ・「恐怖の直視」を意味するもの。スタントマンが交通事故を再現することで、学習者に「恐怖」を与えることにより、社会通念上望ましくない行為を自主的に行わせないようにする教育手法のこと。

○ヘルメット着用推進リーダー実践校とは

- ・交通安全意識の浸透と「岐阜県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（令和4年4月施行）」の周知を図るため、県内の高校生を「自転車ヘルメット着用推進リーダー」に県が任命。また、ヘルメット着用推進リーダーを置く学校を「自転車ヘルメット着用推進リーダー実践校」に県が任命。
- ・令和7年度は県内の高等学校、特別支援学校24校（公立19校、私立5校）を任命。